

平成25年第12回教育委員会定例会
(12月13日開会)

台東区教育委員会

日 時 平成25年12月13日(金)午後2時

場 所 教育委員会室

出席委員

委 員 長	樋 口 清 秀
委員長職務代理者	前 田 烈
委 員	高 森 大 乗
委 員	末 廣 照 純
教 育 長	和 田 人 志

説明のために出席した事務局職員

事 務 局 次 長	須 賀 裕
生涯学習推進担当部長	神 部 忠 夫
庶 務 課 長	嶋 田 邦 彦
学 務 課 長	田 中 充
児 童 保 育 課 長	柴 崎 次 郎
指 導 課 長	藤 森 克 彦
教育改革担当課長 (兼 教育支援館長)	針 谷 玲 子
生 涯 学 習 課 長	飯 塚 さ ち 子
青少年・スポーツ課長	小 澤 隆
中央図書館長	川 島 俊 二
事 務 局 副 参 事	柿 沼 浩 一

日 程

日程第1 教育長報告

1 協議事項

(1) 庶務課

ア 平成25年度学校・園ボランティアへの感謝状の贈呈について

(2) 学務課

イ 公益社団法人東京都台東区歯科医師会が実施する事業に対する後援について

(3) 青少年・スポーツ課

ウ 体育施設の事前使用承認について

2 報告事項

(1) 庶務課

ア 平成25年第4回区議会定例会一般質問について

- イ 婚姻歴のないひとり親家庭への寡婦（寡夫）控除のみなし適用の導入について
- ウ 後援名義の使用について

(2) 学務課

- エ 平成 2 6 年度区立幼稚園及び認定こども園（短時間保育）の募集状況及び学級編制について

(3) 児童保育課

- オ 平成 2 5 年度台東区立保育園修了お祝い会について

(4) 指導課

- カ 台東育英小学校金管バンドの「全日本小学校バンドフェスティバル全国大会」の出場について

(5) 教育支援館

- キ 同善会の解散に伴う寄附金の活用について

3 1月の行事予定について

4 その他

午後2時00分 開会

樋口委員長 ただいまから、平成25年第12回台東区教育委員会定例会を開会いたします。本日の会議録署名委員は、高森委員にお願いします。

それでは、会議に入ります。

この際、あらかじめ会議時間の延長をいたしておきます。

それではここで、傍聴についてお諮りいたします。本日の教育委員会に提出される傍聴願いについては、これより許可したいと思いますが、これにご異議ございませんでしょうか。

(異議なし)

樋口委員長 では、ご異議ございませんので、傍聴については許可いたします。

日程第1 教育長報告

1 協議事項

(1) 庶務課 ア

樋口委員長 それでは、日程第1、教育長報告に入ります。まず、協議事項を議題といたします。

事務局、各課ごとに説明をお願いいたします。

初めに、庶務課のアについて、庶務課長、説明をお願いいたします。

庶務課長 それでは、平成25年度学校・園ボランティアへの感謝状の贈呈についてご説明をさせていただきます。資料1をご覧ください。

項番の1、概要でございます。ボランティア活動を通じて、台東区立小中学校・幼稚園・保育園・こども園に貢献されている方々の中で、その功績が特に顕著である個人や団体に対しまして、感謝状を贈呈しているものでございます。

項番の2、感謝状贈呈の目的でございますが、三つありまして感謝の意を表する、活動を積極的に取り組む意欲を高める、それから登録人数の拡充を図るというものでございます。(2)の贈呈の対象基準をもとに、各学校・園に募集を行ったところ、今年度は小学校5校から推薦がありました。受彰予定者につきましては資料裏面のほうの一覧をご覧くださいと思います。この5校からそれぞれ、こうしたボランティアの推薦がございました。これらの方を受彰予定者として考えてございます。

資料、表面に戻っていただきまして、(4)贈呈式でございます。日時は平成26年1月21日火曜日、午後3時から。場所は区役所10階の1003会議室です。出席者は、受彰者、推薦した校長のほか、教育委員長をはじめ、教育委員、教育長、小学校長会会長、教育委員会事務局管理職でございます。贈呈式につきましてはよろしく願いをいたします。

感謝状の贈呈につきましての説明は以上でございます。

樋口委員長 ただいまの説明につきまして、何かご質問はございませんか。

和田教育長 田原小学校の図書ボランティアの受彰者は、団体ではなくお一人なのです

か。

庶務課長 田原小学校の図書ボランティアの方も複数いらっしゃいますけれども、特にこの方が、この図書ボランティアの中でも中心的な人物として、読み聞かせ等に携わっているということで、個人としての推薦ということでございます。

樋口委員長 その他、ご質問はございませんか。

(なし)

樋口委員長 それでは、庶務課のアについて、協議どおり決定いたしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(異議なし)

樋口委員長 ご異議ございませんので、協議どおり決定いたしました。

(2) 学務課 イ

樋口委員長 次に、学務課のイについて、学務課長、説明をお願いします。

学務課長 それでは、資料2に基づきまして、公益社団法人東京都台東区歯科医師会が実施いたします、区民向け講演会、「守ろう子どもの歯 - 外傷とむし歯と - 」の後援名義使用についてご説明を申し上げます。

子どもは、家庭や学校等での遊びやスポーツで、歯の外傷を伴う口腔内の事故を起こしやすいものです。しかしながら、その応急処置やその後の治療経過については、一般的にあまり知られておりません。また、成長期の子どものむし歯については、顎の成長や食生活に大きく影響を及ぼすものでございます。

本講演は、広く区民に予防法や、処置法を知っていただくことで、子どもの健やかな成長へとつなげることを目的としてございます。開催日は平成26年2月15日土曜日、開催場所は、生涯学習センター301研修室でございます。本講演につきましては、園児、児童、生徒の口腔の健康増進及び口腔ケアの啓発の観点から、意義のあるものと考えております。

よろしくご協議の上、ご決定いただきますようお願い申し上げます。

以上です

樋口委員長 ただいまの説明につきまして、何かご質問ございませんでしょうか。

(なし)

樋口委員長 それでは、学務課のイについては、協議どおり決定したいと思います。これにご異議ございませんか。

(異議なし)

樋口委員長 ご異議ございませんので、協議どおり決定いたしました。

(3) 青少年・スポーツ課 ウ

樋口委員長 次に、青少年・スポーツ課のウについて、青少年・スポーツ課長、よろしくお願いたします。

青少年・スポーツ課長 それでは、私のほうから体育施設の事前使用承認につきましてご説明申し上げます。お手元の資料3をご覧ください。

まず、使用計画でございますが、柳北スポーツプラザにつきまして、1件目といたしましては、青少年・スポーツ課の、3月2日日曜日に行われます、かんたんスポーツ体験会第3弾の会場として、アリーナ、テニスコートの申請がございます。この事業は、現在、検討を進めております総合型地域スポーツクラブの取り組みを、地域の方々に紹介するという目的で、開催をするものでございます。

続きまして、児童保育課より、2月5日水曜日に、おともだちフェスタの会場としての申請がございます。浅草橋こどもクラブによる行事でございます。お友達を交えたドッジボール大会などが開催の予定でございます。

続きまして、保健サービス課から、若返り体操の会場として、2月26日の水曜日と26年度になりますが4月23日の申請がございます。若返り体操は区の事業として行われているもので、地域の中高年の方々に体操による体力づくりを促進するため、浅草橋地区健康推進委員健康学習会として開催をされるものでございます。

続きまして清島温水プールでございます。平成26年度事前使用承認申請は、この一覧表のとおりでございます。区立の小中学校の授業や、幼稚園、こども園、保育園等の活動、また、ぜん息児の水泳訓練教室、区民体育祭などの開催により使用をするものでございます。

以上の申請につきまして、東京都台東区体育施設条例施行規則第5条第3項に基づきまして教育委員会の協議をお願いするものでございます。それぞれ、スポーツ振興の点から規則に照らし、適正な申請と思われるので、ご協議の上、ご承認賜りますよう、お願い申し上げます。

私からは以上でございます。

樋口委員長 ただいまの説明につきまして、何かご質問ございませんか。

(なし)

樋口委員長 ご質問ありませんので、それでは、青少年・スポーツ課のウについては、協議どおり決定いたしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

(異議なし)

樋口委員長 ご異議ございませんので、協議どおり決定いたしました。

日程第1 教育長報告

2 報告事項

(1) 庶務課 アイウ

樋口委員長 次に、報告事項を議題といたします。

事務局、各課ごとに報告をお願いします。

初めに、庶務課のアからウについて、庶務課長、報告をお願いします。

庶務課長 それでは、庶務課のアからウにつきまして、一括してご説明をさせていただきます。

まず、平成25年第4回区議会定例会一般質問事項でございます。資料4をご覧ください。第4回区議会定例会では、7人の議員が一般質問を行いました。教育委員会には、そのうち3人の議員から8項目の質問がありました。

まず、3ページでございますが、たいとうフロンティア君塚議員から、小・中学校体育館のエアコン整備について質問がありました。答弁といたしましては、エアコン整備は教育委員会としても重要な課題であると考えております。未整備の学校につきましては、大規模改修の進捗状況を踏まえ、整備の時期や手法を引き続き検討をしておりますと答弁をしております。

次に、公明党の小菅議員から、こちらのほうは6項目にわたる、多くの質問がございました。幾つかご紹介いたしますと、まず4ページでございますが、項番4、放課後子ども教室について質問がありました。全児童対象の放課後子ども教室の実施を推進すべきと考えるかどうかという内容で、現在、地域や学校の状況や家族のニーズなどのさまざまな課題について、関係者の方々と話し合い、国の動向なども見据え、検討を行っています。今後も、子どもたちが、充実した放課後の時間を過ごすことができる環境づくりに取り組んでまいりますと答弁をしております。

次に、項番5、SNSソーシャルネットワーキングサービスの指導についてという質問がございました。質問の要旨は、SNSの利用に関してどのような指導を行っているのか。また、小学校高学年、中学生にこの問題について議論をする場を設けて、ルールづくりをしていく必要があると考えるかどうかというものでございます。

答弁の要旨としては、本区では、各小中学校のセーフティ教室の中で、約束を決めて使用するよう指導するとともに、保護者には「機器の必要性と管理」「子どもの約束づくり」などについて、家庭内で話し合うよう啓発しております。また、子ども同士が意見を交換したり、ルールづくりをしたりすることは大変意義があり、実践している学校の取り組みなどを普及するとともに、道徳の時間、学級活動の時間に取り入れていくよう、学校に指導していくという答弁をしております。

次に、6ページでございますが、共産党の秋間議員からは、教育環境の改善についてという質問がございました。質問は教室不足に対する認識と対策、それから「適正規模適正配置」方針の総括についてということでございます。

教育委員会では、教室の将来需要に対応するために、学区域ごとに就学前児童の現況をもとに、中長期的な予測数を試算し、学校ごとに課題の整理を行い、現在、その対策を検討しております。また、「適正規模適正配置」の総括という質問には、児童・生徒数に対する学校数・学級数はほぼ適正な状況にあると認識しておりますという答弁をしております。

詳細につきましては、また後ほどお読みいただきたいと思います。第4回区議会定例

会の一般質問についての説明は以上でございます。

次に、資料5でございますが、婚姻歴のないひとり親家庭への寡婦（寡夫）控除のみなし適用の導入についてでございます。

項番1、目的でございます。ひとり親家庭のうち、配偶者と死別・離婚した場合には、税制上の寡婦（寡夫）控除、あるいは非課税の措置が取られていますが、婚姻歴のない場合には、このような措置が取られていないということで、子どもにとってこのような選択の余地のない理由で不利益を及ぼすことのないように、婚姻歴のないひとり親家庭に寡婦（寡夫）控除等をみなし適用とすることで、所得の低い母子（父子）家庭等の負担軽減を図るという目的でございます。

項番2が、みなし適用を導入する事業でございます。区では保育・教育の分野において、子どもが継続的に利用する事業を対象に、資料掲載の事業について導入を予定しております。こうした保育料等の事業を選定した理由といたしましては、区議会に陳情がございまして、区民文教委員会で審議をされ趣旨採択に至ったという経緯がございます。今後、この件につきましては、庁内で決定を行い、議会報告後、平成26年1月1日から実施していきたいと考えております。

資料5の説明については以上でございます。

最後に資料6、台東区教育委員会後援名義使用についてでございます。庶務課取扱い分としては、事業名、学習ゼミナール、申請者は東京大学大学院教育学研究科市川研究室でございます。そのほか、指導課取扱い分1件、生涯学習課取扱い分2件出ております。内容については、資料のとおりです。

簡単でございますが、説明は以上でございます。

樋口委員長 ただいまの報告につきまして、まず報告事項、庶務課のAについて、何かご質問ございませんか。

前田委員 4ページの5のSNSソーシャルネットワーキングサービスについて、学校ほどの程度使用状況を把握していますか。

指導課長 幾つかの学校のデータは把握しておりますが、全校のデータを一斉にとっているというような状況は、今のところはございません。今後はそういった実態等の把握も必要かと考えております。

前田委員 わかりました。今、私立の高校で働いていますが、中学時代不登校であったり、学習意欲がなかったり、対人関係が悪かったりする生徒がいますが、その多くが、夜にインターネットを利用している。そして、そのせいかよく遅刻をします。ですから、子どもの生活について、生活指導が非常に重要であると考えています。

校長が、あるいは学校で把握をするというのは、とても難しいと思いますが、大事な観点だと思いますので、ぜひ学校にも意識を高めてもらいたいと思います。

和田教育長 今の件に関連して、SNSについて実態調査はないにしても、現在、情報として聞いている事案、あるいは具体的な課題として上がっているものを説明してください。

指導課長 一番危惧しているのは、誹謗中傷のようなことですが、このことについては、東京都教育委員会と連携を取り、随時確認することができる体制をとっております。

具体的に申し上げますと、例えばある中学校で、ある生徒の誹謗中傷があったので調べて欲しいというように、東京都教育委員会に確認をとることで、監視をすることができます。ただ、本区の場合は年に数件あるかないかという状況でございます。

次に、携帯電話でSNS等をどのぐらいの生徒たちが利用しているのか、この点については、一部の学校から得た情報によりますと、2時間ぐらい平気でメール等を使っているというような生徒も、かなり多くいると聞いております。

そのことによって、例えば遅刻が多い、あるいは学習意欲低下、学力が下がったというようなところまで実態を把握はしておりませんが、使用状況につきましては、今後さらに把握をしていきたいと思っております。

樋口委員長 まず実態把握をした上で、子どもと保護者双方に、有用な方法と悪用になるケースをきっちり理解させるなど、ぜひとも指導をお願いしたいと思います。

末廣委員 携帯電話等の学校への持ち込みは基本的に禁止していますよね。

指導課長 小学校も中学校も、基本的には禁止しております。

末廣委員 実際に学校で生徒が使った場合、学校によって対応が違うと思いますが、区全体での取り決めはありますか。

指導課長 区全体で共通した対応というものはございませんが、生徒が持ってきた場合には、保管をし、保護者などに連絡をして、指導をした後に返すというような対応が一般的かと思えます。

末廣委員 それが普通だと思いますが、ちゃんと保管をしていない場合もあると聞いたことがあります。携帯電話を紛失するようなことがあると問題になりますので、厳密に管理をしていただきたいと思います。

指導課長 この携帯電話等の使用につきましては、今後、大きな課題になると思いますので、これまで以上に生活指導主任会等を通じて情報を集めながら、学校現場と一緒に考えてまいりたいと思っております。

高森委員 このSNSに限らず、子どもたちを取り巻くネット環境の問題、いわゆる有害サイトなどのさまざまな問題は、東京都教育委員会や警視庁、携帯電話のメーカーなどで、いろいろと議論をされていると思います。

東京都の公立小学校PTAの連合組織では、この問題に特化した研修会等を開いて、保護者がこのような問題について学んでいると聞き及んでいます。台東区でも年1回程度、家庭教育学級の一コマとして、こういった勉強会ができればいいと思っています。

樋口委員長 先日、スマートフォンに夢中になっていたがために電車にひかれてしまい、命を落としたサラリーマンのニュースを見ましたが、ホームから転落する人や、通行人にぶつかるというのは非常に良く聞く話ですので、道德教育の一環として、子どものころからしっかりと指導していただきたいと思います。よろしく申し上げます。

よろしいですか。

(なし)

樋口委員長 次に、報告事項、庶務課のイについて、何かご質問ございませんか。

末廣委員 みなし適用を既に導入している自治体はありますか。

庶務課長 23区に限定しますと、この10月から新宿区が導入をしたと聞いております。また来年の4月からは、2区で導入していくと聞いております。

末廣委員 新宿区が一番最初ですか。

庶務課長 23区では一番最初です。東京では八王子が今年の最初からやっています、他の自治体でも、幾つかの市では導入している例がございます。

末廣委員 わかりました。

高森委員 適用対象者ですが、恐らく所得要件の上限が決まっていると思いますが、適用するかどうかを判断するのは、基本的には書類審査だけなのでしょうか。

庶務課長 これから詰めていきますが、適用対象者は項番3にありますように「婚姻歴のないひとり親のうち、児童扶養手当を受給している者」となっておりますので、戸籍等を活用して、調査をしてやっていくということだと思います。

樋口委員長 よろしいですか。

(なし)

樋口委員長 次に、報告事項庶務課のウについて、ご質問はございませんか。

高森委員 学習ゼミナールというのは、台東区の中学生だけを対象にしているものですか。それとも広く、都内のほかの中学校も対象になっていますか。

庶務課長 この事業は、台東区在住の中学2年生、文京区在住の中学2年生、東京大学教育学部附属中等教育学校の2年生、その他希望者を対象にしています。

高森委員 PRや情報発信はどのようにされるのでしょうか。

庶務課長 後援名義が承認されますと、各学校を通じてPRをし、参加を呼びかけていきたいということがございます。

高森委員 この授業は、これまで何回ぐらい開催しているのでしょうか。

庶務課長 前は、2年ほど前に開催しておりまして、毎年ではないようですが、何回か開催をしている経緯がございます。

高森委員 ありがとうございます。

樋口委員長 よろしいですか。

(なし)

樋口委員長 それでは、庶務課のアからウについては、報告どおり了承願います。

(2) 学務課 工

樋口委員長 次に、学務課の工について、学務課長、報告をお願いします。

学務課長 それでは、平成26年度区立幼稚園及び認定こども園(短時間保育)の募集状

況及び学級編制について、資料7に基づきましてご説明をいたします。

去る11月14、15日に、入園の申し込みを受け付けまして、その後26日に一次抽選、29日に二次抽選を行ったところでございます。

幼稚園につきましては、150名の募集に対しお申し込みは182名。こども園につきましては、募集53名に対しましてお申し込みが117名でございました。結果、根岸、大正、清島、富士、ことぶき、たいとうの6園で抽選となったところでございます。

この一次抽選に漏れた方のうち49名の方が、定員に達していない幼稚園への二次申し込みをされました。その結果、竹町、千束、田原、育英の4園で抽選となりまして、さらに空いている幼稚園への三次募集をしました結果、全体で定員229名のところ227名が入園予定者、こども園につきましては、定員と同数の67名が入園予定者というようなこととなりまして、学級数につきましては各園1学級という状況でございました。

前回の定例会でもご了承いただきましたとおり、この二次抽選に漏れて入園予定が決まっていない方は、最終的に23名というような状況でございまして、私立幼稚園とも情報交換をしながら対応策を検討させていただいておりましたが、根岸幼稚園で1学級の追加募集をさせていただくことといたしました。もう既に昨日、一次抽選で漏れている方々全員に通知をいたしまして、受け付けを18日と19日で行い、25日には抽選を実施したいと考えております。

また、4歳、5歳につきましては、4歳に17名、5歳に4名の申し込みがございまして、全員が入園予定者となったところでございます。

ご報告は以上でございます。

樋口委員長 ただいまの報告について、何かご質問ございませんか。

(なし)

樋口委員長 それでは、学務課の工については、報告どおり了承願います。

(3) 児童保育課 才

樋口委員長 次に、児童保育課の才について、児童保育課長、報告をお願いします。

児童保育課長 それでは、平成25年度台東区立保育園修了お祝い会についてご報告をさせていただきます。資料8をご覧ください。

日時でございますが、平成26年3月12日水曜日でございます。午前10時から開始をいたしまして、園によって若干違いはございますが、30分～1時間程度を想定してございます。例年、区長、教育長それから教育委員の皆様方に区立保育園に行っていただきまして、区長及び教育委員会のお祝いの言葉を述べていただくという流れになってございます。

この日時でございますけれども、幼稚園、小学校、中学校の卒業式等との兼ね合いで、日程を決めさせていただいているところでございますが、今年度につきましてはこの3月12日ということで決定をさせていただきました。当日は、恐れ入りますが略礼服での出席をお願いしたいと考えているところでございます。

説明は、簡単でございますが以上でございます。

樋口委員長 ただいまの報告につきまして、何かご質問ございませんか。

一点確認ですが、お祝いの言葉は、区長及び教育委員会ですか。それとも区長のお祝いの言葉を我々が代読という話ですか。小学校や中学校はそうですね。

児童保育課長 台東区と並列で教育委員会ということになってございます。よろしくお願いたします。

樋口委員長 よろしいですか。

(なし)

樋口委員長 それでは、児童保育課のオについては、ご報告どおり了承願います。

(4) 指導課 カ

樋口委員長 次に、指導課の力について、指導課長、報告をお願いいたします。

指導課長 それでは、台東育英小学校金管バンドの全国大会出場についてご報告を申し上げます。資料9をご覧くださいと思います。

まず、出場までの経過についてでございますが、去る9月1日曜日に、東京都大会が開催され金賞を受賞するとともに、全国大会に推薦をされました。そして、全国大会につきましては、11月23日土曜日に、全国から35校が集まり、大阪城ホールにて開催いたしました。私も会場に行きましたが、子どもたちはさすがに緊張していたものの、堂々とした演奏でございました。台東区立学校の代表として、立派な姿を全国に披露してくれたと思っております。

審査結果でございますが、金、銀、銅の中の銅賞でございましたが、会場には保護者の方々、PTAの方々、そして地域の方々も多数駆けつけていただき、熱い声援を送っていただきました。

以上、報告とさせていただきます。

樋口委員長 ただいまの報告につきまして、何かご質問ございませんか。

高森委員 資料の項番1、経過の部分で、参加15校中、6校が金賞受賞。そこから3校が全国大会に推薦をされたということですが、台東育英小がその3校に入ったということ自体が、とてもすごいことだと思います。選考の基準はあるのでしょうか。

指導課長 選考基準は明らかにされておりませんが、金賞、銀賞、銅賞がありまして、15校を大体3分の1ぐらいずつ分けているようです。

高森委員 恐らく同じ金賞でも順位があるのでしょうか。

指導課長 そうですね。全国大会に推薦されたので、上位3校の中に入った結果だと思いますが、順位が何番かというのは発表されておりません。

高森委員 わかりました。大変榮譽ある賞を受賞したわけですから、全国大会は銅賞という結果でも、十分健闘したと思います。また来年以降、期待が膨らみます。

樋口委員長 よろしいですか。

(なし)

樋口委員長 それでは、指導課の力については、ご報告どおりご了承願います

(5) 教育支援館 キ

樋口委員長 次に、教育支援館のキについて、教育支援館長、報告をお願いします。

教育支援館長 それでは、同善会の解散に伴う寄附金の活用についてご報告させていただきます。資料10をご覧ください。

前回、教育委員会でご説明いたしました。寄附につきましては同善会の解散に伴い、残余財産を区に寄附したいといった申し出を受け、9月18日に受領したものでございます。寄附者は同善会でございます。

寄附者のご意向といたしまして、障害児への教育及び災害時の医療救護活動に必要な備品の購入に役立てていただきたいという申し出を受けまして、障害児の教育の部分について、教育支援館で活用させていただくことといたしました。

活用方法につきましては、(1)言語訓練装置でございますが、これは実際に子どもがこの装置を使うことで、発音やきこえについて、自分の聞こえた具合と発音の矯正ができるような相談業務に活用するものでございます。

それから(2)のプレイセラピー用遊具でございますが、これは実際に臨床心理士とそのお子さんが、直接このプレイセラピーを通して、療育療法という形で相談業務がより円滑に進むようなものとして、例えば大型の積み木セットですとか、それからソフトブロックを使ったもの、そういったようなものを、具体的には買わせていただいて活用したいと考えております。

せっかくの申し出をいただいておりますので、これを受けて教育相談の業務が一層充実するようにしていきたいと考えております。ご報告は以上でございます。

樋口委員長 ただいまの報告につきまして、何かご質問ございませんか。

(なし)

樋口委員長 ありませんので、それでは、教育支援館のキについては、報告どおり了承をお願いいたします。

3 1月の行事予定について

樋口委員長 次に、1月の行事予定について、庶務課長、報告をお願いします。

庶務課長 1月の行事予定でございます。お手元の資料11のとおりでございます。

なお、教育委員会定例会は1月15日水曜日でございます。

行事予定については以上でございます。

樋口委員長 ただいまの報告につきまして、何かご質問ございませんか。

(なし)

樋口委員長 それでは、行事予定については、報告どおりご了承願います。

4 その他

樋口委員長 用意された議題は全て審議を終了しました。ほかに何かございますか。

生涯学習課長 台東区少年少女発明クラブの「The Taito's」が第4回全国少年少女チャレンジ創造コンテストで、見事、銀メダル、読売新聞社賞を受賞いたしましたのでご報告させていただきます。

この全国少年少女チャレンジ創造コンテストというのは、平成13年から続いている、権威ある大会でございます。主催は、歴代会長にソニーの創業者の井深さんや、パナソニックの松下幸之助さんなどがお務めになりました、日本が世界に誇るものづくりを牽引してきた人物を輩します、公益社団法人発明協会が主催するものでございます。

最初に課題がありまして、課題を全部できたチームが、全国的に811チームありますけれども、その中から東京の大会を経て、全国大会に出場できたのが20チーム。その中で上位10チームだけが、特別賞、優秀賞を受賞したということで、快挙に値する受賞ということでご報告させていただきました。

樋口委員長 ただいまの報告について、ご質問・ご意見ございませんか。

和田教育長 全国大会に出たのは初めてですか。

生涯学習課長 出場したことはあるようですが、受賞には至らなかったというところがございます。

和田教育長 全国で800チームぐらい出場をしたということですか。

生涯学習課長 そうですね。全国的にたくさんのチームが挑戦をしておりますが、課題を達成できたチームが、811チームあったということでございます。

和田教育長 この発明クラブの運営については生涯学習課だけではなく、地元の企業の方たちも非常に協力していただいていると聞いていますが、その方たちの反応はいかがですか。

生涯学習課長 台東区商工会議所の役員会で披露をさせていただいたところ、早速、寄附したいと手を挙げてくださった企業もございます。台東区はものづくりの伝統がありますので、子どもたちのこのような活動が、全国の中でも評価されたということで、大変お喜びいただいております。

和田教育長 ものづくりに対して、非常に関心が低くなってきていると言われていますが、それがまた重要視をされてきているということですね。台東区は中小企業のまちでもありますので、このようなことをきっかけにして、地域でこのような機運が盛り上がってくると嬉しいですし、大変いいことだと思っております。

高森委員 今日、学校で子どもたちの様子を見てきましたが、ものづくりをしている子どもたちはいきいきとしていますよね。子どもは基本的にものづくりが好きですから、必ず何か将来に役立つことはあるでしょうから、ぜひ応援していきたいと思っております。

生涯学習課長 今後、作品の展示会などをして、多くの方に見ていただけるようにいた

します。

樋口委員長 ほかに何かございますか。

学務課長 うれしいご報告をさせていただきたいと思います。連合陸上競技大会の800メートルで新記録を出しました忍岡中学校3年生の女子生徒が、この度、第32回皇后盃全国都道府県対抗女子駅伝の選手として代表に選ばれました。レースは、年明けて1月12日12時半スタートということで、この大会は京都新聞、またNHKも共催ということでございますので、また全国区で活躍していただけるのかと思っております、本当にうれしく思っています。報告は以上です。

樋口委員長 ただいまの報告について、ご質問、ご意見などございませんか。

(なし)

樋口委員長 それでは、12月11日をもちまして前田委員が教育委員をご退任されます。つきましては、ご挨拶をいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

(前田委員退任挨拶)

樋口委員長 以上をもちまして、本日予定された議事日程は全て終了しました。

これをもちまして、本日の定例会を閉じ、散会といたします。

午後3時03分 閉会